



2026
第27号



栄西・栄東・丘珠 地区版

東区独自の担い手発掘！

令和7年12月24日（水）、区民センターにおいて東区生活支援推進連絡会（区協議体）を開催し、東区内での担い手をさらに増やしていくにはどうしたらよいのかを話し合いました。

東区では令和4年度から「東区くらしのサポーター養成講座」を企画し、担い手発掘・育成を行っています。また、地域の困りごとを「わがごと」ととらえ課題解決に向けて一緒に考えてくれる人材を増やしていくため、学びと交流を深めるための集まりを定期的で開催しています。

「近所なら！」「得意なので！」と実際に手伝ってくれる人、また「自分のできることなら手伝うよ」とその時に備えている方が少しずつ増えていますが、その数はまだまだ不足しています。

「なくても特に困らないけれど、あった（いた）方が心強い」のがくらしのサポーターです。おたがいさまの気持ちでそっと支えてくれる人が増え、地域の結びつきが少しでも強固になるようこれからも担い手発掘に向けて取り組んでいきます。ぜひみなさんの声をお聞かせください。

いただいた意見やアイデアを活かし、
東区ならではの取り組みをめざしていきます！



アイデア その1 【開催日時や対象者について】

- ・こどもや若い世代が参加しやすい土日や長期休暇に開催してみては？
- ・男性が興味を持ち参加しやすい内容を企画し、男性参加者を増やしていくのもよさそう

アイデア その2 【プログラムに取り入れられそうな案として】

- ・体験型のプログラム
- ・ゲームなどを活用し楽しくてためになること
- ・家の掃除に関する内容（整理整頓、100均グッズ活用の掃除術、断捨離など）
- ・防犯、防災、終活、マネー講座、スマホの使い方
- ・サポーター活動事例の共有（修了生がどんな活動につながったか）

意見の一部を
紹介します



支えつつ支えられる地域づくりを目指して 栄東地区

令和7年12月、栄東地区福祉のまち推進センター運営委員のみなさんと、
【くらしの中のちょっとした困りごと】をテーマに話し合いを行いました。
「隣近所や町内会などで、解決できそうな内容もたくさんある」
「困っていると言ってもらえたら、手を貸してあげたい」
「町内会のアンケート調査で、どんなことに困っているのかを調べてみては」など解決に向けて前向きな意見が次々に出されました。

以前は簡単に出来ていたことがだんだん困難になった、病気やケガがきっかけ、子育てや介護など新たな課題が出てきたなど、地域の困りごとは多種多様です。「誰に相談したらいいのかわからない」「手を貸してほしいと言えない」など、地域とのつながりや関係性が乏しいという課題もあります。

自分の地域をよく知り、情報を共有することも解決の糸口です。負担のない方法でどんなことから始められるのか一緒に考えていきましょう。



担い手開発・育成

栄西地区「ちょボウの日」開催！



「ちょボウの日」は、栄西ちょボウ隊メンバーが支え合う地域づくりを目指し、毎年開催している勉強会です。今年はちょボウ隊員とその家族を対象に開催し35名が参加しました。未就学児から80代のシニアまでが同じゲームで遊び、同じテーマで意見交換、最後はクリスマスお楽しみビンゴ大会で締めくくりました。わいわいがやがや楽しみつつ、ちょっぴり真面目な問題を一緒に考えていくうちに、お互いを信頼しあえる仲間づくりの場になっています。「ふだんのくらしをしあわせに」を考えるいい機会となりました。



発行・お問い合わせ先

東区社会福祉協議会

電話 011-741-6440

〒065-8612 札幌市東区北11条東7丁目1-1 東区民センター1階

第2層生活支援コーディネーター

熊谷（栄西、栄東、丘珠地区担当）

